

代理店 Interview

代理店インタビュー

有限会社 村上保険事務所(愛媛県今治市)



代表取締役
営業部長
事務担当
村上英明様(写真中央)
松垣亮太郎様(写真右側)
眞部有加様(写真左側)

2021年度ロイヤル特級代理店新規認定となった有限会社村上保険事務所の村上社長に、認定となった感想や、日ごろの取組み、今後のビジョンなどについてお聞きしました。

Q1 2021年度ロイヤル特級代理店に新規認定された率直な感想をお願いします

ようやくスタートラインに立つことができたと思っています。ロイヤル特級認定はゴールではなく、これからが本当の勝負であると考えています。

Q2 ロイヤル特級を意識し始めたきっかけを教えてください

全国のKPCを中心とした尊敬する先輩代理店の社長の皆さまから「次はお前の番だ!」と激励されたことが目指すことを意識したきっかけです。2019年、事前に決起会(懇親会)をKPC歴代会長会の皆さまご参加のもと京都で開催していただき、改めて認定取得は必達であると決意したことを思い出します。大変ありがたいことです。

Q3 認定に向けて、苦勞されたことや意識して取組んだことなど教えてください

一般取保規模1億円を突破するために、毎週金曜日定例で打ち合わせを実施してきました。その際に実績についての進捗を管理し、推進施策を協議し、新規案件等の確認を行いました。前年の大口新規実績が翌月の継続実績となる場合や、前年の長期一括の新規などいかなる事情があったとしても、とにかく毎月確実に増収することを常に意識して取組みました。

Q4 その苦勞をどのように乗り越えましたか

辛い時期にも従業員と共に熱く語り合っ、自らの良い意味で追い込んできました。最終的には強い

気持ちの持ちよう、俗に言う気合と根性で乗り切ってきたのかもしれない。そのような場面においても、お客さまから感謝のお言葉をいただいたり、他の顧客をご紹介いただいたりとお助けいただきました。とても感謝していますし、これから恩返しをしていきたいと考えています。

Q5 認定後、変わったことはありますか(意識、取組み等)

認定に向けた取組みを本格化する中で培ってきた法人向けのリスクコンサルティングの手法がメインの武器となってきました。お客さまのリスクを把握・分析し適切な補償を提案することを常に意識しています。お客さまのお役に立ちたいとの基本方針が代理店の基礎であり、その結果としてご契約をいただいていると考えています。

例えば、業務災害補償保険の提案にあたっては、災害補償規定や社内規定の策定についてのアドバイスも行っています。

有限会社 村上保険事務所

1973年6月 先代村上齊氏が共栄火災と代理店委託
2015年1月 村上英明氏が代表取締役就任
2018年6月 松垣亮太郎氏が営業部長として入社
2020年7月 社長と部長がジークワッド入門
2021年4月 ロイヤル特級代理店に認定

Q6 お客さまをグリップするためにされている取組みは何ですか?

昨今は新型コロナウイルスの影響で、対面での営業活動が難しい場面も多くなりましたが、お客さまの許可を取って可能な限り訪問するよう心掛けています。実際に会って対話することによってお客さまとのコミュニケーションを密にすることが重要ではないでしょうか。今後もIT機器等を活用した新しい営業スタイルと適切に使い分けていきたいと考えています。

Q7 今後の抱負を教えてください

取保規模2億円を突破し、人員を増やしていくことによってお客さま対応力を更に強化していくことです。既存のお客さまからの紹介による遠方の新規顧客への訪問のため出張も多く、不在の際に地元のお客さまへの対応が十分できる体制を構築していきます。

Q8 全国の代理店の皆さまに一言お願いします

ようやく尊敬する先輩たちの仲間入りが出来ました。今後は、全国の仲間や後輩たちを引っ張って行けるようにさらなる高みを目指します。共に頑張りましょう!! 最後に皆さまへお伝えしたい言葉があります。気合あらば行けぬ道なし!!

